



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社

コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	29,824	5.8	3,476	0.5	3,803	2.7	2,754	6.1
2025年3月期第3四半期	28,178	3.6	3,460	0.9	3,703	5.1	2,594	△8.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,826百万円(19.6%) 2025年3月期第3四半期 3,199百万円(△12.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	102.25	102.13
2025年3月期第3四半期	96.60	96.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	52,104	41,298	79.2	1,528.00
2025年3月期	49,242	38,715	78.5	1,436.84

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 41,264百万円 2025年3月期 38,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	21.00	—	23.00	44.00
2026年3月期	—	27.00	—		
2026年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,520	3.3	5,230	△1.3	5,320	△1.8	3,600	△7.5	133.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	28,392,000株	2025年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,386,280株	2025年3月期	1,480,657株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	26,938,980株	2025年3月期3Q	26,864,288株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善の動きが続く中、個人消費や設備投資の持ち直しや各種政策の効果から、景気は緩やかな回復が見られました。一方で、米国の通商政策の動向、為替相場の不安定な推移、物価上昇の継続などから、先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、米国では景気の拡大が緩やかとなる中、通商政策などの政策動向が米国内経済に与える影響は、引き続き見通し困難な状況にあります。欧州ではウクライナ情勢や中東地域紛争の地政学リスクが高く、引き続き低成長が続くと見られます。また、中国でも不動産市況の低迷や米中貿易交渉の先行き不透明感から、景気回復ペースは鈍化すると見られます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続く中、消費者の節約志向が依然として継続し、引き続き厳しい経営環境が続いております。そのような環境下、大手・中堅ベーカーリーによる設備投資は堅調さを維持し、流通・外食向けは復活傾向にあります。観光業界ではインバウンド観光客の増加による需要回復の動きが弱含みにあります。また、当社商品が中小企業省力化投資補助金の対象に登録されたことに伴い、補助金を活用した設備案件が増加しております。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。中期経営計画（2023年度～2027年度）の3年目の今年度は、「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略の推進策として、新機種開発を強化し、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく左右されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成に引き続き取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は29,824百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は3,476百万円（前年同四半期比0.5%増）、経常利益は3,803百万円（前年同四半期比2.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,754百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高の数値を、セグメント利益は、セグメント間取引消去前かつ販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を、それぞれ記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、製パンライン等の売上は増加しましたが、食品成形機、修理その他、仕入商品の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は7,852百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は3,163百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比54.0%増加となりました。

主な要因は、製パンラインの「アルチザンブレッド生産ライン」や「コンチャ生産ライン」、「ドーナツ生産ライン」の販売が好調だったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが152円57銭から148円74銭と2.5%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は4,089百万円（前年同四半期比50.2%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は、245百万円（前年同四半期比78.5%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比1.6%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが164円83銭から171円83銭と4.2%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は3,627百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は大型展示会への出展で広告宣伝費が増加したことなどにより、175百万円（前年同四半期比42.6%減）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、修理その他の売上は減少しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が増加しました。

主な要因は、中国、韓国向けの売上が増加したことなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は2,508百万円（前年同四半期比68.4%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は582百万円（前年同四半期比66.0%増）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジペーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比2.2%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが152円57銭から148円74銭と2.5%の円高の影響もあり、外部顧客に対する売上高は11,398百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は1,277百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は348百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

主な要因は、大口顧客向けの売上減少ならびに猛暑によるパン需要の減少などがあげられます。

セグメント利益（営業利益）は売上原価率の上昇などにより、24百万円（前年同四半期比67.1%減）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2,861百万円増加し、52,104百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加などです。負債は、前連結会計年度末に比べて278百万円増加し、10,805百万円となりました。主な要因は、短期借入金増加などです。純資産は、前連結会計年度末に比べて2,583百万円増加し、41,298百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は概ね修正後の予想通りに推移しております。2025年11月12日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,777,876	9,969,963
受取手形及び売掛金	4,094,259	3,715,307
商品及び製品	6,095,998	6,618,589
仕掛品	1,984,520	2,435,934
原材料及び貯蔵品	435,437	562,538
その他	721,464	945,943
貸倒引当金	△35,852	△63,506
流動資産合計	29,073,703	24,184,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,156,230	17,271,094
減価償却累計額	△9,787,658	△9,988,821
建物及び構築物（純額）	7,368,571	7,282,273
機械装置及び運搬具	11,314,023	12,401,706
減価償却累計額	△8,703,296	△9,209,590
機械装置及び運搬具（純額）	2,610,727	3,192,116
工具、器具及び備品	2,050,138	2,145,017
減価償却累計額	△1,798,184	△1,839,962
工具、器具及び備品（純額）	251,953	305,055
土地	4,100,093	6,572,665
リース資産	28,392	28,392
減価償却累計額	△9,653	△13,948
リース資産（純額）	18,738	14,443
建設仮勘定	626,103	5,146,970
有形固定資産合計	14,976,189	22,513,524
無形固定資産	1,211,036	1,082,169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,953,777	2,226,036
退職給付に係る資産	1,803,250	1,808,436
その他	227,700	292,795
貸倒引当金	△3,255	△3,478
投資その他の資産合計	3,981,472	4,323,789
固定資産合計	20,168,698	27,919,482
資産合計	49,242,402	52,104,252

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,419,758	1,266,481
短期借入金	660,730	1,563,155
リース債務	6,125	5,601
未払金	951,496	993,582
未払費用	665,636	746,204
未払法人税等	833,684	234,958
前受金	3,416,097	3,631,402
賞与引当金	775,551	383,351
役員賞与引当金	28,900	25,650
その他	109,060	250,695
流動負債合計	8,867,041	9,101,084
固定負債		
長期借入金	737,414	624,121
リース債務	14,513	10,373
繰延税金負債	534,118	696,227
再評価に係る繰延税金負債	357,262	357,262
資産除去債務	16,877	16,877
その他	40	40
固定負債合計	1,660,226	1,704,902
負債合計	10,527,268	10,805,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,180,279	7,251,852
利益剰余金	23,144,905	24,553,186
自己株式	△720,590	△674,486
株主資本合計	36,956,343	38,482,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,041,437	1,223,698
土地再評価差額金	△1,703,069	△1,703,069
為替換算調整勘定	2,073,678	2,983,858
退職給付に係る調整累計額	298,832	277,995
その他の包括利益累計額合計	1,710,878	2,782,482
新株予約権	47,911	33,481
純資産合計	38,715,134	41,298,265
負債純資産合計	49,242,402	52,104,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	28,178,664	29,824,453
売上原価	15,357,744	16,699,199
売上総利益	12,820,919	13,125,253
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	223,822	446,121
荷造運搬費	1,413,397	1,371,494
貸倒引当金繰入額	5,918	26,662
販売手数料	728,444	810,628
給料及び手当	2,866,548	2,899,764
賞与引当金繰入額	215,426	208,871
役員賞与引当金繰入額	21,970	25,650
退職給付費用	103,658	113,163
法定福利費	508,533	500,881
旅費及び交通費	397,221	409,902
減価償却費	463,232	408,930
研究開発費	553,730	437,637
その他	1,858,546	1,989,019
販売費及び一般管理費合計	9,360,451	9,648,727
営業利益	3,460,468	3,476,526
営業外収益		
受取利息	46,551	65,631
受取配当金	36,232	49,459
物品売却益	14,520	14,815
為替差益	134,899	164,345
保険解約返戻金	703	1,966
電力販売収益	17,619	17,393
その他	28,368	40,604
営業外収益合計	278,895	354,215
営業外費用		
支払利息	8,715	13,876
電力販売費用	11,822	5,684
固定資産除却損	7,892	2,158
その他	7,026	5,284
営業外費用合計	35,456	27,004
経常利益	3,703,907	3,803,737
税金等調整前四半期純利益	3,703,907	3,803,737
法人税、住民税及び事業税	1,172,023	968,707
法人税等調整額	△63,114	80,582
法人税等合計	1,108,908	1,049,289
四半期純利益	2,594,999	2,754,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,594,999	2,754,447

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,594,999	2,754,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,287	182,261
為替換算調整勘定	499,805	910,179
退職給付に係る調整額	△35,325	△20,837
その他の包括利益合計	604,767	1,071,603
四半期包括利益	3,199,766	3,826,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,199,766	3,826,051

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等の注記)
【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,073,878	2,723,483	3,536,516	1,489,379	15,823,257
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,370,821	64,632	79	—	5,435,534
計	13,444,700	2,788,115	3,536,596	1,489,379	21,258,791
セグメント利益	3,388,078	137,702	306,250	351,159	4,183,190

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	11,957,769	397,637	12,355,406	28,178,664
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	5,435,560
計	11,957,769	397,663	12,355,433	33,614,224
セグメント利益	1,368,060	74,981	1,443,041	5,626,232

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
(2) ヨーロッパ……………ドイツ、イスラエル、イギリス、セルビア、オーストリア
(3) アジア……………台湾、中国、ベトナム、韓国、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,626,232
セグメント間取引消去	△525,619
本社一般管理費(注)	△1,640,144
四半期連結損益計算書の営業利益	3,460,468

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	7,852,161	4,089,342	3,627,338	2,508,618	18,077,461
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,417,630	103,587	446	—	5,521,664
計	13,269,792	4,192,930	3,627,784	2,508,618	23,599,126
セグメント利益	3,163,699	245,751	175,804	582,962	4,168,217

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	11,398,533	348,458	11,746,992	29,824,453
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	5,521,690
計	11,398,533	348,484	11,747,018	35,346,144
セグメント利益	1,277,735	24,658	1,302,394	5,470,612

（注）各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、メキシコ、カナダ
(2) ヨーロッパ……………ドイツ、イギリス、イスラエル、フランス、チェコ
(3) アジア……………中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	5,470,612
セグメント間取引消去	△356,233
本社一般管理費（注）	△1,637,852
四半期連結損益計算書の営業利益	3,476,526

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月11日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間までに譲渡制限付株式報酬として11,745株の自己株式の処分、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして72,237株の自己株式の処分を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる取得なども含め、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が71,573千円増加、自己株式が46,104千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が7,251,852千円、自己株式が674,486千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,105,733千円	1,131,702千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。